



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西本 一也
問合せ先責任者（役職名） 業務執行役員（氏名） 小笠原 功二（TEL）03-4540-3002
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	862	△8.2	16	△74.0	△85	—	△39	—
2024年9月期中間期	940	0.9	61	△18.6	△26	—	20	158.1

（注）包括利益 2025年9月期中間期 △48百万円（—%） 2024年9月期中間期 17百万円（265.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△5.53	—
2024年9月期中間期	2.82	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	1,594	1,184	74.1
2024年9月期	1,645	1,232	74.2

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,181百万円 2024年9月期 1,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,160	16.8	110	37.1	△40	—	10	—	1.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期中間期	7,444,800株	2024年9月期	7,444,800株
2025年9月期中間期	259,230株	2024年9月期	259,200株
2025年9月期中間期	7,185,597株	2024年9月期中間期	7,185,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、暗号資産プラットフォーム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び機能性食材であるハナビラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当中間連結会計期間(以下、「当中間期」)の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2024年9月期 (前中間期)		2025年9月期 (当中間期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	940	100.0	862	100.0	91.8
金融ソリューション事業	750	79.9	682	79.0	90.8
ビジネスソリューション事業	131	13.9	125	14.6	95.7
ヘルスケア事業	58	6.2	55	6.4	94.5
営業利益	61	—	16	—	26.0
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	20	—	△39	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当中間期の業績は、連結売上高は前年同期比77百万円減少し862百万円となりました。また損益面では減収の影響により、営業利益は前年同期比45百万円減少し16百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケットツ(以下、デジタルアセットマーケットツ)の持分法による投資損失100百万円を計上した一方で、デジタルアセットマーケットツの株主割当増資に伴う持分変動利益を47百万円計上したことにより、39百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社及びデジタルアセットマーケットツの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	682百万円(前年同期比 90.8%)
セグメント利益	223百万円(前年同期比 93.1%)

2024年11月に東京証券取引所でarrowhead4.0が運用を開始したことにより、エンハンス対応の受注があったものの、大口顧客からのライセンス利用料等の減収により、売上高は前年同期比90.8%の682百万円、セグメント利益は、減収等の影響により前年同期比93.1%の223百万円となりました。

2025年3月に、Fireblocks社とWEB3インフラ導入支援に関する戦略的パートナーシップを締結したことにより、デジタルアセットマーケットツと協力し、WEB3領域に経営資源を振り分け、更なる事業拡大を目指してまいります。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	125百万円(前年同期比95.7%)
セグメント損失	21百万円(前年同期は4百万円のセグメント損失)

S Iサービスの増収がみられたものの、主力である経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e2』において、既存顧客からの追加開発案件等が前年同期に比べて少なかったため、売上高は前年同期比95.7%の125百万円となりました。損益面では、減収の影響に加えて、人材の確保と定着のための賃金のベースアップや開発工数の増加等により、前年同期の4百万円のセグメント損失から、21百万円のセグメント損失と悪化しました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	55百万円(前年同期比94.5%)
セグメント損失	24百万円(前年同期は22百万円のセグメント損失)

『ITはなびらたけ』製品の機能性表示食品の販売が計画より遅れており、売上高は、前年同期比94.5%の55百万円となりました。損益面に関しては、減収の影響等により、セグメント損失は前年同期の22百万円から24百万円と若干悪化しました。

2025年3月28日に公表しました通り、消費者庁から機能性表示食品の届出番号を取得したことにより、2025年第3四半期会計期間以降に、『ITはなびらたけ』の機能性を明記した新商品である「エストロリッチ ピュア」を展開し、事業の拡大を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当中間期末の総資産額(負債純資産合計)は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、1,594百万円となりました。自己資本比率は74.1%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は347.3%となっております。

(資産)

資産合計1,594百万円のうち、現金及び預金が818百万円(構成比51.3%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形、売掛金及び契約資産178百万円(構成比11.2%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)66百万円(構成比4.2%)、投資有価証券292百万円(構成比18.3%)となっております。

前連結会計年度末の資産合計1,645百万円より50百万円減少しており、その主な増減要因は、現金及び預金が206百万円及び短期貸付金が100百万円減少し、投資有価証券が247百万円増加していることによるものです。

(負債)

負債合計410百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が246百万円(負債純資産合計に対する構成比15.5%)となっております。

前連結会計年度末の負債合計413百万円より2百万円減少しており、その主な増減要因は、長期借入金20百万円減少し、未払法人税等が12百万円増加していることによるものです。

(純資産)

純資産合計1,184百万円の主な内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,198百万円、自己株式△95百万円となっております。前連結会計年度末の純資産合計1,232百万円より48百万円減少しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する中間純損失を計上したことによる利益剰余金の減少39百万円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し、818百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは20百万円の収入(前年同期は105百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、売上債権の減少額25百万円、持分法による投資損失100百万円であり、主な減少要因は、税金等調整前中間純損失37百万円、持分変動利益47百万円、棚卸資産の増加額36百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、202百万円の支出(前年同期は15百万円の支出)となりました。

主な減少要因は、関係会社株式の取得による支出299百万円等であり、主な増加要因は、短期貸付金の減少額100百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、24百万円の支出(前年同期は13百万円の支出)となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出20百万円、リース債務の返済による支出4百万円等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2024年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,024,922	818,576
受取手形、売掛金及び契約資産	203,503	178,361
商品及び製品	8,435	8,267
仕掛品	16,641	52,615
原材料及び貯蔵品	4,309	5,320
短期貸付金	100,000	-
その他	65,759	68,277
貸倒引当金	△246	△246
流動資産合計	1,423,324	1,131,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,416	10,727
工具、器具及び備品(純額)	22,286	21,417
リース資産(純額)	10,845	7,201
有形固定資産合計	44,548	39,347
無形固定資産		
ソフトウェア	2,461	2,712
その他	364	364
無形固定資産合計	2,826	3,077
投資その他の資産		
投資有価証券	44,988	292,554
繰延税金資産	4,166	3,644
敷金及び保証金	123,361	123,361
その他	14,606	13,678
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	175,271	421,387
固定資産合計	222,645	463,812
資産合計	1,645,970	1,594,983

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,140	49,650
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	40,032	40,032
リース債務	7,807	5,453
未払法人税等	8,305	20,867
契約負債	13,109	19,760
受注損失引当金	1,000	-
その他	53,869	51,303
流動負債合計	272,264	287,067
固定負債		
長期借入金	126,568	106,552
リース債務	4,619	2,913
退職給付に係る負債	9,686	14,422
固定負債合計	140,873	123,887
負債合計	413,137	410,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,158,703	△1,198,458
自己株式	△95,031	△95,046
株主資本合計	1,221,266	1,181,496
非支配株主持分	11,566	2,532
純資産合計	1,232,832	1,184,028
負債純資産合計	1,645,970	1,594,983

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	940,343	862,797
売上原価	602,178	574,434
売上総利益	338,164	288,362
販売費及び一般管理費	276,532	272,345
営業利益	61,632	16,017
営業外収益		
受取利息	5	508
雑収入	193	307
営業外収益合計	199	816
営業外費用		
支払利息	744	1,472
持分法による投資損失	87,574	100,815
その他	107	0
営業外費用合計	88,426	102,287
経常損失(△)	△26,595	△85,454
特別利益		
持分変動利益	58,216	47,636
新株予約権戻入益	697	-
特別利益合計	58,913	47,636
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	32,317	△37,817
法人税、住民税及び事業税	13,819	10,448
法人税等調整額	1,103	522
法人税等合計	14,922	10,971
中間純利益又は中間純損失(△)	17,395	△48,789
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2,849	△9,033
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	20,244	△39,755

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	17,395	△48,789
中間包括利益	17,395	△48,789
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	20,244	△39,755
非支配株主に係る中間包括利益	△2,849	△9,033

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	32,317	△37,817
減価償却費	8,023	8,064
ソフトウェア償却費	789	638
その他の償却額	681	928
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△1,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	92	4,736
受取利息及び受取配当金	△5	△508
支払利息	744	1,472
持分変動損益(△は益)	△58,216	△47,636
新株予約権戻入益	△697	-
持分法による投資損益(△は益)	87,574	100,815
売上債権の増減額(△は増加)	92,259	25,142
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,869	△36,817
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,414	△2,666
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,059	1,509
未払金の増減額(△は減少)	△457	△4,486
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△76	1,120
未払消費税等の増減額(△は減少)	444	2,766
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,704	5,425
その他	△3,602	△1,705
小計	117,234	19,980
利息及び配当金の受取額	5	876
利息の支払額	△744	△1,526
法人税等の支払額	△13,255	△2,546
法人税等の還付額	2,303	3,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,542	20,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,195	△2,484
無形固定資産の取得による支出	-	△889
短期貸付金の増減額(△は増加)	-	100,000
長期前払費用の取得による支出	△771	-
関係会社株式の取得による支出	-	△299,040
敷金及び保証金の回収による収入	1,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,967	△202,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,020	△20,016
リース債務の返済による支出	△3,569	△4,059
自己株式の取得による支出	-	△14
その他	△33	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,622	△24,090
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	75,952	△206,346
現金及び現金同等物の期首残高	994,380	1,024,922
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,070,332	818,576

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	750,734	131,032	58,576	940,343	—	940,343
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	30	30	△30	—
計	750,734	131,032	58,607	940,374	△30	940,343
セグメント利益又は損失 (△)	240,341	△4,858	△22,424	213,059	△151,427	61,632

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△151,427千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	682,019	125,383	55,394	862,797	—	862,797
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	12	12	△12	—
計	682,019	125,383	55,407	862,810	△12	862,797
セグメント利益又は損失 (△)	223,767	△21,485	△24,433	177,848	△161,830	16,017

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,830千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2025年4月17日開催の取締役会において、株式会社A n d G oの株式(34,200株 25%)を取得し、持分法適用関連会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2025年4月24日に株式を取得しました。これにより、同社は、当社の持分法適用関連会社となる予定です。

(1)目的

量子コンピューター時代のデータセキュリティでは、秘密計算、秘密分散といった高機能暗号技術力が求められる。当該専門分野に高い技術力を持つ株式会社A n d G o社と一層の関係強化を図り、日本の社会ニーズにあわせたソリューションを開発、提供するため。

(2)株式取得する会社の概要

名称	株式会社A n d G o
所在地	東京都台東区上野三丁目14-2
代表者の役職・氏名	代表取締役 原 利英
事業内容	暗号資産ウォレット事業、セキュリティサービスソリューション事業
資本金	25,480千円
設立年月日	2017年4月18日

(3)株式取得の時期

2025年4月24日

(4)取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数	34,200株
取得価額	51百万円
取得後の持分比率	25.0%